

## 事業計画書

事業名	障害を抱える子ども達の将来の仕事づくり 「折り畳み式ゴミかご」の製作
実施場所	沼津市内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

- 障害を抱える子ども達の将来の仕事の一つとなるよう、地域の方々が日常的に使用する折り畳み式ゴミかごを製作します。
- 障害を抱える方々が個々の特性に応じた形で地域社会に役立つ仕事をし、地域の方々の障害理解が深まることを目指す事業です。
- 仕事に人を合わせるのではなく、人に仕事を合わせる形となるよう、支援者の協力を得ながら、障害を抱えていても正確で効率的な作業が行える作業手順の検討や治具の製作も行います。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

障害を抱える子どもが増える一方で、個々に合った施設や就労先などの居場所が少ない状況や、個々の得意を發揮できる環境での社会的自立の難しさがあり、多くの家庭が将来への不安を感じています。こうした背景から、母亡き後も愛する我が子が安心して暮らしていける「仕事づくり」と「居場所づくり」を目的とした「障害者のしごとを考える母の会」を2017年に立ち上げました。

その活動の一環として2018～2021年度に実施させて頂いた”まちづくりファンド事業”では、情報交換・憩いの場としての「ミーティング」、身近な支援者である母達の「スキルアップ」、個々の得意を引き出す「創作・体験活動」、活動を発表する場である「心のままアート展」に取り組みました。

事業推進の結果、少しずつですが母達の仲間が増え、雇用環境整備士やジョブコーチなどの資格・認定を取得し企業等で活躍する母達も出てきました。文書作成や表計算などのパソコンスキルを習得し、資料作成やプレゼンが行えるようになりました。子ども達からはその個性を活かした作品が生まれ、「心のままアート展」にて多くの方々の鑑賞をいただいています。

いずれの取り組みも、私達の活動に賛同して下さる企業等による支援の拡大により、公費に頼ることなく自走できる体制ができました。2022年度以降も自分達の力で継続して取り組んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。

こうした状況を踏まえて、2022年度以降はスキルアップできた母達が我が子の将来の仕事づくりを具体的に進めるステージに移ります。それに従い、母子のコミュニティとしての位置づけが強い「障害者のしごとを考える母の会」から、障害を抱える子ども（ぼく）達の将来の働く場所としての「カフェと工房ぼくの色」にまちづくりファンドの事業主体を移します。

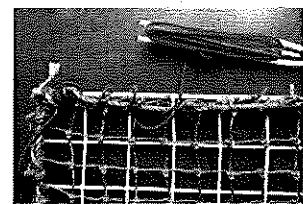
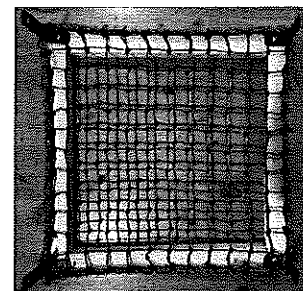
これまでの「カフェと工房ぼくの色」は、地域や企業の方々の「生活に彩りを添える仕事」として、創作活動で生まれた作品を雑貨にしての販売や珈琲・チョコレートの提供を、子ども達のお仕事体験を兼ねた形で行って来ました。今回は、地域の方々の「生活に直接的に役立つ将来の仕事」として、ごみ集積施設に着目しています。


ごみ集積施設は、沼津市内の各自治会が市の補助を受けながら整備を進めており、近年「環境意識の高まり」や「設置場所を選ばず・安価な折り畳み式かごの登場」により、整備に対するニーズが高まっています。

こうした状況を踏まえつつ、製品の構造がそれほど複雑ではないこと、ゴミかごを覆うネットの補強作業やネットを金属枠に留める作業などが、一度習得した作業を、正確に繰り返し行うことができる特性に合っていることなどから、「折り畳み式ゴミかご」の製作が将来の仕事の一つになるのではと考え、本事業を申請しました。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
4月～5月	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>●検討会の実施            参加者：団体メンバーと支援者            内 容：製作するゴミかごの大きさ、重さ、折り畳み構造、部材（金属枠、ネット・ロープ・補修糸、銘板、留め具等）、作業内容・手順・治具等を検討する。</p>
5月	<p>●ネット補強治具〔演習用〕の製作            団体メンバー有志で、ネット補強の技術を習得するための演習用の治具を製作する。</p> <p>●ネット補強演習            支援者の協力を頂き、演習用の治具用いてネットの周囲をロープで補強する技術※を団体メンバー5名程度が習得する。            (※ゴルフや野球などの練習に用いられる防球ネットを補修するのと同様の技術)</p>



<p>6月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金属枠の設計と製造 支援者・支援企業の協力を頂き、ステンレス(仮)の金属枠を設計・製造する。</li> <li>●銘板のデザインと製作 団体メンバー有志で、ゴミかごに取り付ける銘板をデザイン・製作する。</li> <li>●ネット補強治具の製作 団体メンバー有志で、ネット補強治具を製作する。 (大きさが異なる ゴミかご正面・裏面・側面・上面それぞれを用意)</li> </ul> <div data-bbox="1070 271 1362 479" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>みんなあつがる</p>  <p>●●●自治会</p> </div>
<p>7月～9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゴミかごの製作 幅 200cm・高さ 70cm・奥行き 60cm(仮)のゴミかごを 10 個製作する。</li> </ul>
<p>8月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「まちづくりファンド事業の紹介チラシ」の製作と印刷 製作に至る背景や目的、仕様、スケジュール等を紹介するチラシ。 A4 両面カラー、200 枚を印刷。(200 自治会分として算出)</li> </ul>
<p>9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゴミかご試用のお願い 自治会連合会 及び 折り畳み式ゴミかごのニーズが高い連合自治会の会合を訪問し、製作した 10 個のゴミかごの試用をお願いする。 併せて「まちづくりファンド事業の紹介チラシ」をお渡しする。 (訪問する連合自治会は世帯数の多い第四・第五・金岡・愛鷹などを想定) (試用する単位自治会の選定は連合自治会にお任せする)</li> </ul>
<p>12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●試用下さった自治会より、耐久性や使い勝手についてのご意見を伺う。 (試用後の返却は求めず、そのままお使いいただく)</li> </ul>
<p>1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●検討会の実施 参加者：団体メンバーと支援者 内 容：試用結果を踏まえて、ゴミかごの仕様を決定する。 (次年度の製品製作に向けた仕様決定)</li> </ul>
<p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「製品紹介チラシ」の製作と印刷 仕様、サービス、背景や目的を紹介するチラシ。 A4 両面カラー、200 枚を印刷。(200 自治会分として算出)</li> </ul>
<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自治会への製品紹介(＝次年度に向けた営業活動) 折り畳み式ゴミかごのニーズが見込まれる連合自治会の会合を訪問し「製品紹介チラシ」をお渡しする。 訪問する連合自治会数 15、配布自治会数 200 程度を予定。</li> </ul>

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

### ●障害理解

障害を抱える家庭の母や子ども達が生み出す製品に触れ、また働く姿を見ることで地域の方々の障害理解が深まり、障害が身近なものとなります。

### ●社会参画

障害を抱えていても素晴らしい能力を発揮したり、真面目に作業をするなど、十分に働き手としての力があることを知ってもらうことで、障害者が社会に参加する機会が増えます。

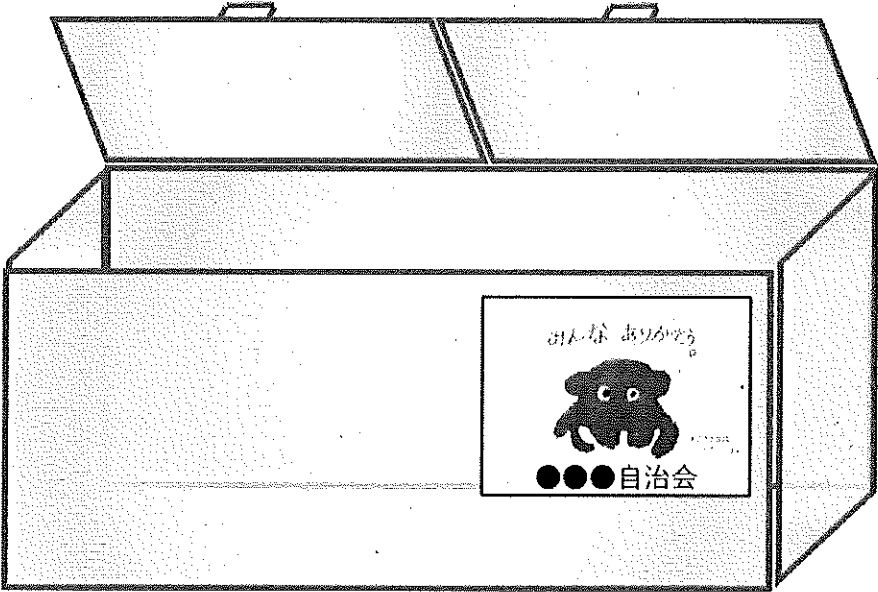
### ●働く場の創出

障害者の特性や能力を活かした作業が増え、将来の「しごと」につながります。

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試作版の製作と 自治会による試用 10 個製作、10 自治会で試用</li> <li>・ 製品版の仕様決定と 販売に向けた製品紹介 200 自治会</li> </ul>	<p>指標の 検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>いずれの成果指標も、 その実績により検証します。</p>
-------------	---	---------------------	--

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>本事業で障害を抱える家庭の母や子ども達が製作する「折り畳み式ゴミかご」は、地域の皆様方が日常的に使用し、目に触れるものです。障害との接点が多かった地域の方々との関わりが生まれ、地域の方々の障害理解が深まり、障害を身近に感じて頂けるものと思います。</p> <p>障害を抱える方々が個々の特性に応じた形で地域社会に役立つ仕事をしつつ、地域の方々の障害に対する理解が広がっていくことを目指す本事業は、公益性があり、公的資金を用いて実施する必要性のある事業だと考えています。</p> <p>私達の手はとても小さいですが、まずは自分達の出来る範囲での仕事づくりに取り組みます。全国的な課題でもある、障害を抱える方々の役割づくり・仕事づくりや地域社会の障害理解に繋がることを目指して活動していきます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津市のみならず全国的な傾向かとは思いますが、障害を抱える人の数が年々増えていく一方で、地域社会は障害者との接点を持ちにくい状況にあると考えています。学ぶ環境が分かれ、幼い頃に共に育つ機会が少ない事もあってか、障害との関わりや関心が持ちにくく、経験や知識の少なさからマイナスイメージを持たれるケースもあるように思います。</p>

	<p>私達は、個々の特性や能力を活かした地域社会の役に立つ仕事と巡り合えず、埋もれてしまう働き手（ぼく達）を地域資源の一つと考えています。地域に必要とされ、役割とやりがいのある、個々の特性に合った活躍の場を見つけていくことで、この地域資源を活かしていきたいと考えています。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>ゴミかごは、金属枠（購入）、金属枠に留めるネット、ゴミかご正面に取り付ける銘板などの部材により構成され、それらを組み合わせて製品となります。</p> <p>ネットは金属枠に合うサイズにカットした上でロープと補修糸を使って補強しますが、障害を抱えていても正確で効率的な作業が行える作業手順の検討や治具の製作を行います。</p> <p>自治会名などの情報を記す銘板には、障害を抱える子ども達による作品も印字します。温かみのある作品が、地域の方々の心の癒しになればと思います。</p> <p>商品の付加価値として年に1回程度の実施を予定している現地でのメンテナンス作業（補修や清掃）で、地域の方々に働く姿を見て頂くことも予定しています。また、メンテナンスに合わせて異なるイラストを用いた銘板に交換します。</p> 
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>沼津市の報告によれば、2020年度における自治会への補助実績は、新規設置：203件、修繕：2件でした。ごみ集積施設の整備に対するニーズはこの先も続き、年間100～200個程度の需要があるものと想定しています。その内の20個程度を仕事として取り込み、本ファンドの助成終了後も採算の取れる事業として成立させていきます。</p> <p>また、本事業を軌道に乗せ、続けていくことで、障害理解の深まった支え合いの気持ち溢れる地域づくりに貢献したいと考えています。</p>

	<p>事業の推進に合わせて、作り手を変えながら増やしていきます。  まず母達主体で製作する形から始めます。次いで母子での製作（母が子の指導者・支援者になります）。さらには、大人になった子ども達（ぼく達）主体での製作へと変えていきます。</p> <p>同様の考え方で、団体に所属していない家庭の参画も図っていきます。  この事業で構築した働き手を生み出す枠組みは、私たち母子の世代だけでなく、次世代の母子たちにも引き継いでいきます。</p> <p>また、次のような事業拡大を検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会より提供を受けたイラスト（地域の子どもの作品など）を銘板に印字するサービスの開始。</li> <li>・設置場所の状況に合わせたオプションゴミかごの製作。（塗料やスプレー補強による塩害対策など）</li> <li>・企業による地域貢献の一環として、折り畳み式ゴミかごを地域の自治会に寄贈する形を企業に打診。（ゴミかご製作は企業から私達の団体に発注）</li> <li>・障害福祉事業所や支援学校との連携。（詳細は未定：ネットの補強作業や金属枠にネットに留める部材の製作、メンテナンスの依頼などを想定）</li> <li>・販売先を他市・他県へと拡大。</li> </ul>
<p>実現性</p> <p>妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。  ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>私達の目的は、障害を抱える子ども達の将来の仕事づくりであり、本事業で実施する内容と合致しています。仕事として行いますので、製品を買っていただけることが前提ですが、前項で挙げたようにその見込みはあると考えています。</p> <p>現在の母達だけでは得られない部材や技術は、私達の活動への賛同を頂いている企業や個人の方々からの協力を頂いて確保していきます。  例えば、金属枠の設計や製造は外部の方の協力を得て行います。また、ネットの補強技術は、その技を持つ方からの指導により身につけます。</p> <p>本ファンド支援を受けた翌年の2023年度からの事業化を目指しています。  初年度の販売目標を20個とすると、材料費として60万円程度が必要ですので、その分を自己資金として用意します。私達の団体の活動に賛同して下さっている企業等による協賛金や母達の貯蓄を当てることで、その用途は立っています。</p> <p>2022年度中に、製品を購入して頂けるお客様である自治会の皆様方に、試作ゴミかごの試用をお願いすることを予定しています。  使用感や耐久性などの改善点のアドバイスを頂くことはもちろんですが、自治会との関係性の強化や、次年度以降の事業化を知っていただける機会となるよう取り組んでいきます。</p>

活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>将来の子ども達の仕事を生み出すための事業＝役割とやりがい・生きがいを生み出す事業になるよう、母達が力を合わせて取り組んでいきます。折り畳み式ゴミかごの事業化を成功させた先も、地域に必要とされ、地域の役に立つ、個々の特性・能力に合った新たな仕事を母達が見出して形にしていきます。</p> <p>母亡き後も子ども達が安心して暮らしていけることを願いつつ、「ぼくの色」という器で「ぼく（障害を抱える子ども）達」が仕事をし、母達はそれを裏方として支えていく形を目指し、精一杯の活動をしていきます。</p> <p>私達の活動が、同様の課題を抱えている多くの家庭や地域社会の課題解決にも繋がるよう、取り組んでいきます。</p>
----------	--

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

将来も継続できる仕事としていくため、事業に携わる働き手を増やしていきたいと考えています。大人になった子ども達（ぼく達）の参画や団体に所属していない家庭の参画など、働き手を増やし、事業に携わる人のすそ野を広げる取り組みに対するステップアップ型支援の継続を希望しています。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。